

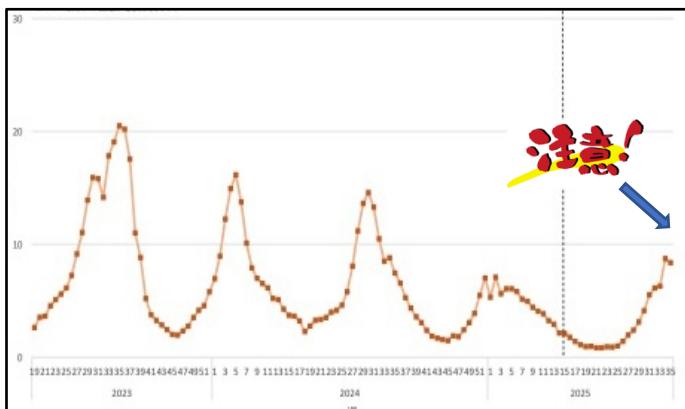
医療介護コミュニケーション—感染対策

注意すべき感染症の流行状況、具体的な対策等について、おもに在宅支援、高齢者施設に従事されている職員の皆様向けに、情報提供しています。



全国で流行しているコロナ「ニンバス」とは? 朝起きて喉が痛かったら、コロナ感染を疑う?

👉 COVID-19定点報告数の推移（全国）



- ・2025年9月に入り感染者数が増加しています。
- ・流行地域の高齢者施設で感染者が増えています。
- ・普段の基本的な対策を今後も続けてください。

○ニンバス株（NB.1.8.1）は、発熱を伴わないことがあるため、軽い喉の痛みを伴う一般のかぜ症状と思い、コロナ感染症の検査、確認が遅れることがあります。

○地域の定点報告数の推移を見ながら、流行地域の施設においては、職員、入所者の健康観察を十分行いましょう。

ストップコロナプロジェクトFUKUOKA

NPO法人病院前救護と健康管理研究会（PC&HM）ホームページでは、COVID-19に関する、家庭内感染対策、高齢者施設の感染対策、会社内感染対策、飲食店の感染対策など《人が集まる場所の感染対策》をAI動画で配信中です。



問い合わせ
ご意見窓口
発行
担当
連絡
H P

NPO法人 病院前救護と健康管理研究会（PC&HM）
医療介護コミュニケーション 広報部 担当者 品川
mail adress : p-contact@pchm-kenkyukai.or.jp
<https://pchm-kenkyukai.or.jp/>

オミクロン変異株「ニンバス」とは？ 特徴は？

👍 感染者の50%以上はオミクロン変異株ニンバス

- 全国で流行している新型コロナウイルス感染症の50%以上は、変異株ニンバス（N.B.1.8.1株）が原因です（2025年8月時点）。ニンバスは、オミクロン株から派生した変異株です。
- ワクチンで獲得した免疫力では、十分な発病予防ができない（免疫逃避）ため、免疫力が低下した高齢者などは重症化することも多いため、注意が必要です。
- 入所者、利用者のワクチン接種率が高い介護関連事業所においても、接種から時間が経っていると、容易に感染が広がってしまうことを十分理解し、感染対策に努めて下さい。

👍 朝起きて喉が痛かったら、コロナ感染を疑う！

- 変異株ニンバスに特徴的な症状は、喉の強い痛みです。
- 38°C以上の発熱や咳嗽、喀痰、鼻水などがない場合でも、「普段と違う喉の痛みが急に出た」場合は、コロナ感染を疑い、検査を受ける、又は検査を受けない場合は、マスク着用時間と手指衛生回数を、一週間程度を目途に増やしましょう。
- 行動制限期間は、発症日（0日）、無症状なら検体採取日（0日）から5日間（5日まで）です。ただし、症状の有無に関わらず、発症2日前から発症後1週間程度は、他人に感染させる可能性があることを自覚しておきましょう。

👍 NPO法人病院前救護と健康管理研究会（<https://pchm-kenkyukai.or.jp/>）では、高齢者の看護、介護に従事されている皆様がたのお役に立てる、職員向け動画や教育、研修資材など様々なコンテンツを配信しています。NPO法人のホームページからメンバーシップ登録して頂き、コミュニケーション広場をご活用下さい。

